



山梨大学附属図書館報

やまなし

2020.11.20
vol.18
no. 1

SCHOOL OF
PRINCE HENRY,
EVESHAM.

contents

- 2 | コロナ禍のもと大学附属図書館の魅力を伝える
- 4 | 図書館利用者の声
- 5 | 学生にすすめる本
- 6 | 図書館統計
- 7 | 図書館トピックス
 - 2020年5月 PubMedリニューアル
 - 「生と死のコーナー」講演会 [医学分館]
 - 感染症対策中の図書館利用について
- 8 | 学外から学内限定電子資料を利用する ほか

コロナ禍のもと大学附属図書館の魅力を伝える

山梨大学アドミッションセンター長

オオスミ
大隅

キヨハル
清陽



山梨大学アドミッションセンター特任助教

スズキ
鈴木

リツコ
律子



 皆さんこんにちは。アドミッションセンターでは、山梨大学の入試についての調査・研究や制度設計、高校との連携、広報などを行っていますが、この春以来の新型コロナウイルスの流行で通常の入試広報ができなくなったため、学内の各部署とも協力して、Webオープンキャンパスなどのオンラインの形により、受験生だけでなく、保護者や一般の方々にも山梨大学の魅力を伝えるコンテンツ作りを行っています。

このたびその延長で、附属図書館のPR動画製作のお手伝いをさせていただくことになりました。今日はそれに関連して、センター専任のアドミッションオフィサーで、広報担当の鈴木律子先生と、附属図書館の魅力についてお話ししたいと思います。

 よろしくお願ひします。今回、下調べのために本館の中を見学させていただいたのですが、まず3階の雑誌書架の奥に、古い洋雑誌が革できれいに装幀されているのを見て、ハリーポッターの世界みたいと感激してしまいました。手に取ってみると紙がぼろぼろになっていましたが…。

 酸性紙といって、インクの乗りをよくするために染み込ませた薬剤のせいで、時間が経つと紙がぼろぼろになってしまうのですね。19世紀の後半から1970年代にかけて盛んに使われたので、図書館が資料を保管するうえでの悩みの種ですが、今は中性紙という長期保存に堪える紙に切り替わっています。

 図書館の方に感想を話したら、もっとすごいものもあるよということで、大型コレクションの一つのスピノザ・コレクションという蔵書を見せてもらいました。

 17世紀オランダの哲学者スピノザ（1632-1677）の著作の初版本を核にして、デカルトやライブニッツなど同時代や前後の時代の哲学者の著作の原典を体系的に集めたもので、1990年に梨大が一括で購入しました。同様のコレクションは他大学にもありますが、スピノザと前後の哲学者との影響関係を、当時読まれていた実際の書物でたどれる点で、他に類例のないものだそうです。



300年以上前に外国で出版された本を、今の自分が手に取って見ているというのは不思議な感じがしました。紙は火が着くと燃えてしまうし、はかないものという印象があったのですが、人間が注意を払って適切に管理すると、何百年も残すことができるのですね。



私の専門の日本古代史でいうと、東大寺の正倉院には、正倉院文書という1300年前の古文書が約1万点も残っています。正倉院が現在に伝わったのは、無数の人々の努力のおかげですが、洋の東西を問わず、宗教施設には今の図書館のような役割もありますね。ちなみに近代の大学は、ヨーロッパの教会から発達したものです。



実際に貴重書を手に取ってみて、情報を、生身の人間の実体験として受け取ることの大切さも感じました。最近では情報技術の発展で、バーチャルな情報のやりとりが当たり前になっていますが、情報を生み出して伝え合っているのは、その背後にいる生身の人間なのだと…。



情報の発信者と受け手がダイレクトにつながれるのがネットの利点ですが、SNSの炎上のように、それゆえの問題もないとは言えません。私も大学の授業では、ネットの情報は利用してかまわないが、必ず図書館で紙の本を使って裏を取れと言っています。紙の本に載っている情報は、執筆者だけでなく、編集者や読者など大勢の人たちによる吟味や検証を常に経ているので、ネット上の情報とは信頼性が全然違うと…。

図書館では、何百年以上にわたる人類の吟味や検証を経た知識が、膨大な量の書物という形で蓄えられ、職員の方たちの手で整理されて、皆さんの利用を待っているわけです。最後になりますが、PR動画製作にあたっての抱負があればぜひ。



生身の人間が大切ということにも関係するのですが、施設や資料だけでなく、図書館を実際に運営されている方たちの想いのようなものも、少しでも伝えられたらと思います。



ドローンで撮影した映像も使うかもとのことで、私も仕上がりを楽しみです。図書館のPR動画は、今年度中に、山梨大学附属図書館のHPで公開される予定です。皆さん、どうぞご期待ください。



図書館 利用者の 声



図書館の片隅に

臨床研究審査委員会事務局

アキバ シュンスケ

秋葉 峻介 特任助教

学生の特権

大学院 生命環境学専攻 修士課程 2年

カイヌマ ゲンキ

貝沼 元気

着任して1年と少しが経った。図書館、とりわけ医学分館には着任当初からとにかく足繁く通い、図書館のみなさんにはその都度面倒なお願い事を聞いてもらってきた。以下、厄介者の罪滅ぼしのつもりで医学分館の活用の一例について紹介したい。

医学分館には「生と死のコーナー」というスペースに、生と死にかんする資料が集められている。正直なところ、そのコンパクトさゆえにさほど期待もせずいたのだが、じっさいに立ちってみたときに、良い意味で期待を裏切られたのを覚えている——そこには学術書のみならず、文学作品、ルポルタージュ、漫画などが幅広く揃えられていた(!)。このコーナーは「医療従事者を目指す学生にとって、“生と死”について考えるきっかけになればという目的」で設置されたものである。わたしの研究分野はいわゆる「生命倫理」のうち、終末期における生と死をめぐる倫理問題である。したがって、「医療従事者を目指す学生」に便乗してこのコーナーを活用させてもらっていることになる。

かのコーナーにひとたび踏み入れば、目的の文献のみならず、おのずと関連する文献にも手が伸びる。かように、目的の文献以外に触れるきっかけを与えてくれることも図書館活用の醍醐味ではないだろうか——なにというわけでなく手に取った書棚の片隅の文献が研究の手助けをしてくれることもある(しかし困ったことに、一度に3冊までしか借りることができない。この上限の緩和を検討いただければ幸いである)。

ぜひ図書館の「片隅」にも目を向けつつ、思わぬ出会いがあることを楽しんで活用してほしい。

私は図書館の「利用者」として、また学生の図書館利用を支える「学生アルバイト」として山梨大学附属図書館と関わらせていただいています。図書館には様々な分野の本が充実しているので、本の配架業務中や蔵書点検中、普段ボーッと図書館の棚を眺めている中で様々な本との出会いがあり、それが一つの楽しみでもあります。そんな図書館で、私がお勧めしたいサービスが「学生希望図書リクエスト」です。研究に関わる学問書や、非常にマニアックで深く内容を掘り下げている本などは高価なものが多く、研究生活と両立しながらわずかな収入を得て生活している大学院生にとって、図書リクエストは私たち学生にのみに与えられた「特権」であり、神サービスと言えるでしょう。私はこれまで、研究に関わる参考書以外にも音楽・芸術分野に関する本やデザイン・タイポグラフィ関連の本など、様々な本を自分の興味の赴くままにリクエストしましたが、全て承認していただきました。感謝しかありません。

研究者、技術者を目指している私たちは、物事を様々な角度から、広い視野で見て、考え、そして実行していく必要があると思っており、そのための教養・知識の一部をこの図書リクエストで得ることができています。これからも私たち学生の味方、学生希望図書リクエストを利用させていただきたいと思っています。よろしくお祈りします!

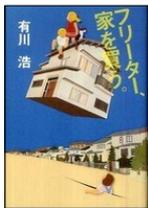
皆さんもぜひ在学中にリクエストして、大学の図書館を充実させましょう!! 私はその本を新刊コーナーで見つけて借りることでしょう。

学生にすすめる本

● 本館 2F 一般書架 913.6

フリーター、家を買う。

有川浩著 幻冬舎



皆さんは、将来の明確な目標を持って大学に入学してきたでしょうか？漠然と大学や学部・学科を選んでいませんか？でも皆さんを責めるつもりは毛頭ありません。多分、しっかりした目標を定めて大学に入学する学生さんは、ほんの一握りだと思います。

しかし大学を卒業する時にも漠然と行先を決めてしまい、人生の路頭に迷ってしまう人も少なくありません。本書の主人公も漠然と就職し、思ってたんと違うとばかりに会社を辞め、ズッポリ、フリーター生活に浸り、うるさい親父の小言に嫌気がさすものの再就職活動に気合は入らずグダグダな生活を送ります。そんな息子の体たらく、近所の目、親父の不理解に、母親は精神を病んでしまいます。そんな母親への心配と怒鳴り散らすばかりの父親への反感から、主人公は家を買って母親と出ていくと宣言し、それまで経験したことのない肉体労働のア

工学部 メカトロニクス工学科
キタムラ トシヤ
北村 敏也 准教授

ルバイトへと向かいます。そして、そのアルバイトを通して人のために働くことの喜び、働くということの意義、そして働くことの達成感を覚え、主人公は成長していきます。

有川浩にしてはラブコメ感がかなり抑え気味の本書ですが、是非皆さんも就職活動前に本書を読み、働くということ、会社が皆さんに何を求めているのかということを感じてほしいと思います。コロナ禍の時代で就職活動が極めて大変ですが、しっかり皆さんの将来像を見据えて、就職活動に挑んでいただけたらと思います。



山梨大学図書館OPACの所蔵情報ページに飛べます。



● 医学分館 2F 開架図書(第三) WM425/IRY

医療スタッフのための動機づけ面接法：逆引きMI学習帳

北田雅子，磯村毅著
医歯薬出版株式会社



例えば、検査結果が悪化し続ける透析患者に対して看護師は、塩分を減らす方法を熱心に提案します。妊娠糖尿病の妊婦に対して看護師は、「このままだと赤ちゃんに影響があるかもしれません」と、時に妊婦を不安にさせるようなことを言いながら、一所懸命に食事指導をします。この方たちは、食事管理が必要なことは、わかっていらっしゃるでしょう。しかし人は、良くないとわかっていても変えられない、止めたいと思っても止められないといった、相反する気持ちを持っています。

動機づけ面接(motivational interviewing, 以下MI)という言葉聞いたことはありますか？MIは、その人が変わりたいと思う段階に応じて、何を求め必要としているのかに焦点をあて行動変容に導く面接法です。

看護師が熱心に指導（それは時に説得になり）すると、



医学部 成育看護学講座
コバヤシ ヤスエ
小林 康江 教授

患者から「わかりました」という言葉が返ってきます。しかし、その変化は長続きしないという経験を持っていらっしゃるのではないのでしょうか。力業ではなく、その人とダンスを踊るように行動変容を支える方法に興味関心をお持ちになったら、是非この本を手にとって見てください。また、MIに興味を持ったが、イメージできないという方は、ぜひ以下の動機付け面接と動機付け面接でない面接の紹介動画を視聴ください。



動機付け面接



動機付け面接
でない面接

※この紹介動画には、小林先生がCastとして参画されています。

こちらも所蔵しています

● 医学分館 2F 開架図書(第三) WM425/IRY/2

医療スタッフのための動機づけ面接2：糖尿病などの生活習慣病におけるMI実践

北田雅子，村田千里著 医歯薬出版株式会社



OPAC

1 図書館利用統計

(1) 開館日数・入館者数

区分	開館日数	入館者数(人)		
		学内者	学外者	合計
本館	279日	137,095	1,120	138,215
分館	285日	116,742	174	116,916



(2) 館外貸出冊数・参考調査取扱件数

区分	館外貸出冊数(冊)				参考調査 件数
	学生	教職員	学外者	合計	
本館	22,019	3,141	752	25,912	2,013
分館	10,314	2,402	193	12,909	2,361

(3) 相互利用

区分	貸借(単位:冊)		文献複写(単位:件)	
	貸出	借受	受付	依頼
本館	163	120	625	536
分館	46	80	1,559	1,367
合計	209	200	2,184	1,903

(4) 子ども図書室

開室日数	64日
入室者数	368人
貸出券発行人数	30人
蔵書冊数	4,779冊
貸出冊数	424冊

2 図書館蔵書統計

(1) 図書・雑誌蔵書数 (R2.3.31現在)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	340,747	124,293	465,040	7,552	2,484	10,036
分館	56,954	41,786	98,740	1,973	1,339	3,312
合計	397,701	166,079	563,780	9,525	3,823	13,348

(2) 図書・雑誌受入数 (R1年度)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	3,149	80	3,229	734	97	831
分館	1,392	16	1,408	437	32	469
合計	4,541	96	4,637	1,171	129	1,300



2020年5月 PubMedリニューアル

米国国立医学図書館（NLM）が作成する医学文献データベースであるPubMedが、リニューアルしました。

（特徴・変更点）

- スマートフォンやタブレットなどで見やすい画面構成
 - 検索結果のデフォルトのソート順は、Most recent（最新順）からBest match（関連度順）に変更
 - Snippets: 抄録中から検索語に関連する部分を抜き出して書誌情報の下に表示
- 新PubMedではリニューアル後もサイトの改善、機能の追加をしています。

利用における疑問点は下記を参照してください。

PubMed User Guide <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/help/>

※Legacy Site（旧PubMed）は10月31日に閉鎖。

山梨大学附属図書館医学分館「生と死のコーナー」関連行事 講演会 「いのちの終わりのジレンマ～苦悩と鎮静～」を開催



令和2年10月19日（月）、医学部キャンパスにおいて、附属図書館医学分館「生と死のコーナー」の関連イベントとして講演会を開催し、医学生、教職員など約120名が聴講しました。

今回は、国立がん研究センター中央病院緩和医療科科長、同地域医療連携部部長 里見 絵理子先生を講師にお招きし、「いのちの終わりのジレンマ～苦悩と鎮静～」と題し、ご講演をいただきました。

講演は、お一人の患者さんの事例の紹介から始まりました。

医療者はアドバンスケアプランニングを通して、患者さんに適切な情報を伝えながら、その意思決定を支える、よき伴走者となることの大切さを説き、事例と並行して、治療抵抗性の苦痛に対する鎮静について、その定義、評価、未解決な課題の説明がありました。

そして、意思決定者である患者さんまたはご家族の意向に沿った鎮静への説明、医療チームの合意の重要性を述べました。

また、現在のコロナ禍において、終末期を過ごす患者さんにとって、ご家族との面会もままならず、孤独・孤立の中での過酷な環境であることを話されました。

参加者からは「患者さんの苦痛や意思を尊重することの大切さ、鎮静の難しさについて考えさせられた」といった感想が寄せられるなど、有意義な講演会となりました。

この講演会は、例年、学内関係者に加え、地域の医療関係者、一般市民を含めた地域貢献事業として開催していますが、本年は、新型コロナウイルス感染症対策として、学内者限定といたしました。



感染症対策中の図書館利用について

新型コロナウイルス感染症などの感染防止対策として、次のことに注意して図書館をご利用ください。

- ・発熱、咳、倦怠感等の症状があるとき、体調不良のときは利用しない。
- ・入館時にアルコール手指消毒をする。
- ・マスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
- ・ソーシャルディスタンスをとる。
- ・館内での雑談はしない。

うつきない！

うつらない！

学外から学内限定電子資料を利用する

① VPN接続	学内PC等から「総合情報戦略機構」のマニュアルを参照。スマートフォンやPC等に設定すると、学内ネットワークでのみ利用可能なサービスを学外で利用できます（一部を除く）
② 学認 電子書籍，多くの電子ジャーナル，データベース等	①「学認(GakuNin)」を選ぶ→②「山梨大学」を選ぶ→③CNS等の大学IDでログイン 学外からアクセスしても学認へのリンクが無い場合，①の前に「Institutional Login」を選び，「Japanese Research and Education-GakuNin」を選択
③ 専用アプリ 電子書籍のみ	あらかじめ，学内ネットワーク内で専用アプリに電子書籍をダウンロードしておくことで，学外から使えます。（KinoDen，EBSCO，ProQuest）



←最終的にこの画面



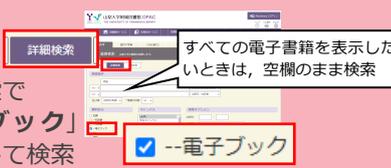
bREADER Cloudの画面

電子書籍 (MeL, KinoDen, EBSCO, ProQuest等の種類があります)

電子書籍の検索は蔵書検索OPAC (図書館ホームページ→OPAC) 「詳細検索」



詳細検索で「電子ブック」を選択して検索



このアイコンをクリック



専用アプリについて

KinoDen
「bREADER Cloud」



アプリの使い方動画 (YouTube)



EBSCO, ProQuest
「Adobe Digital Editions」



先にAdobe IDを取得してログインする必要があります

アプリの使い方動画 (YouTube) - EBSCO




「ジャパンナレッジ」も利用可です（「VPN」，「学認 (学術認証)」でのログイン可）
 「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「国史大辞典」「字通」「現代用語の基礎」「イミダス」等の辞書類のほか，「会社四季報」「エコノミスト」「東洋文庫」「日本古典文学全集」等も収録，全文検索が可能です。

電子ジャーナル Elsevier, Springer, Wiley, OUP, Nature関連誌, Science, ACS, APS, IEEE, NEJM, PNAS, JAMA等

電子ジャーナルも「VPN接続」で学外から利用可能です。また多くが「学認」での認証も可能です。また，最近「Google CASA」に対応している出版社も多いです。

Google CASAとは，学内ネットワーク内でノートPC等からGoogle Scholarにアクセスすると，その後学外から同じPCでGoogle Scholarにアクセスした場合，30日間は大学が購読中の電子ジャーナルが利用できる仕組みです。

学外の方への利用案内

本館及び医学分館は，通常山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できますが，現在，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，学外者の方の利用をご遠慮いただいています。

最新の情報については，
<https://lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください，
 本館 Tel:055-220-8066, 医学分館 Tel:055-273-9357
 にお問い合わせください。



山梨大学附属図書館報
 「やまなし」
 第18巻第1号

2020年11月20日 発行
 編集：館報編集委員会
 発行：山梨大学附属図書館
 〒400-8510
 甲府市武田四丁目4-37
 TEL 055-220-8063

● 表紙：スピノザ・コレクション
 場所：本館3F特別資料室 (図書館職員 撮影)

館報「やまなし」の由来：図書館報「やまなし」は山梨県、山梨大学の「山梨」と、樹木の「ヤマナシ」にかけています。図書館の西側に大きなヤマナシの木があり、毎年たくさん実をつけます。みんなが育てて喜ばれる図書館になるようにという願いがこめられています。